

市民のみなさんと日本共産党の共働で くらし最優先の野田市に



市民の声を議会に届けます

日本共産党 野田市議団が行った
アンケートに 寄せられた声、声、声…

生活が苦しくなった
74.6%



現在のくらしについて

- ☆生活が苦しくなった……74.6%
- ☆公共料金の負担が増えた……40.2%
- ☆国民健康保険料が高すぎる……57.9%

「住民の立場で国・県にキッパリものを言える市政」「住民の声が活かされる市政」にするため、日本共産党は厳しく市政をチェックしながら提案してきました。

市民の願いを議会に届け、暮らし最優先の野田市実現に向け、これからもみなさんとともにがんばってまいります。



野田市の不登校者は368人(24年度)で、中学生は233人にも上っています。このお子さん達に対して野田市では、野田市教育支援センターひばり(関宿には分室があります)で教育相談に応じています。その他にスクールカウンセラーも配置されています。

しかし、今学校で増えているのは「教室に入れない子」たちです。不登校の回復期にも「学校には行けるけれど教室に入ることができない」子が多くいます。こういうお子さんのために学校内フリースクールのような居場所を各学校に作りたいと思います。

2 未来をつくる子育て応援

- 学校給食費
中学校まで完全無料化
- 高すぎる国保料の均等割
高校卒業まで軽減拡大
- スクールカウンセラーの増員
教員未配置校の解消



未就学児を対象に国が一律で実施している国保料の均等割り軽減措置。高校生卒業まで、野田市独自で拡大を。

3 誰もが気軽に移動できる公共交通

- まめバスの増便と路線拡充
- デマンド型の福祉タクシー
(予約方式の乗り合いタクシー)
の創設で公共交通を便利に!

「乗り継ぎの使い勝手が悪い」「通勤・通学の時間に合わない」など、市民のみなさんの声を反映した「まめバス」のルート、ダイヤの見直しを実現します。

また、デマンドタクシー(予約方式の乗り合いタクシー)を導入し、交通不便地域の要望に応えた、誰もが気軽に市内を移動できる地域公共交通事業を実施します。



4 <<聞こえのバリアフリー>>社会実現に向けて

- 加齢性難聴の補聴器購入に市の助成を

認知症の最大のリスクとなる加齢性難聴。75歳以上の7割が加齢性難聴といわれています。コミュニケーション障がいの原因となり、社会的孤立やうつを引き起こす要因ともなる難聴。聞こえのバリアフリー、補聴器購入に助成を。

住民の願いを 議会に届けます

<<ご存じですか?陳情・請願など市民の要望に対する各党・会派の態度>>

	共産	政清	六論	公明	民連	のみ	市ネ	明日	いち
加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的助成制度の創設を求める陳情	○	×	×	×	×	(欠1)	×	×	×
全ての子どもたちに行き届いた教育を求める請願(市内小中学校の給食費無償化)	○	×	×	×	×	×	×	×	×
核兵器禁止条約に署名・批准を国に求める意見書提出についての陳情	○	×	×	×	×	×	○	○	×
選択的夫婦別姓制度導入の国会審議を求める意見書の提出についての陳情	○	×	×	×	×	(欠1)	○	○	×

○:賛成、×:反対、共産:日本共産党、政清:政清会、六論:六論会、公明:公明党、民連:民主連合、のみ:のみみらい、市ネ:市民ネットワーク、明日:野田の明日を考える会、いち:いちいの会

市民の願いを
議会に

